

# 特集 読書のすすめ

秋といえば何を連想されますか？芸術や食など色々ありますね。  
秋の楽しみの中から、親子で楽しめる読書について川崎市立図書館職員の前田史菜さんにお話を伺いました。



川崎市立図書館職員  
前田史菜さん

Q 川崎市立図書館の蔵書数はどれくらいありますか？

図書館には、およそ18万冊の蔵書があります。そのうち3分の1ほどが子ども向けの本です。日本のよみものはもちろん、翻訳された外国の本もたくさんあります。  
Q、子ども向けの貸し出し数BEST10を教えてください。(乳幼児〜中学生まで)

- 1 鹿の王 上 生き残った者 上端菜穂子／著
- 2 鹿の王 下 選って行く者 上端菜穂子／著
- 3 クレヨンからのおねがい！ (亜大図書2015年小学校低学年) ドリユー・デイウォルト／文
- 4 あしたあさってしあさって (課題図書2015小学校低学年) もりやまみやこ／作

5 かあさんのしっぽっぱー (課題図書2015小学校低学年)

村中李衣／作

6 ぼくはうちゅうじん

藤原ヒロコ／絵

7 はつば

中川ひろたか／文

8 りゆうがあります (わたしのえほん)

鎌田歩／作・絵

9 パオズになったおひなさま

ヨシタケシンスケ／作・絵

9 ぼくの、ひかり色の絵の具

佐和みずえ／著

(課題図書2015年小学校高学年)

宮尾和孝／絵

9 ぼくとテスの秘密の七日間

西村すぐり／作

(課題図書2015年小学校高学年)

大野八生／絵

10 きょうのおやつは (かがみえほん)

アンナ・ウォルツ／作

(取材時の) 8月は課題図書が多くランクインとなりました。

野坂悦子／訳

この他に根強い人気の図書は、かいけつゾロリシリーズです。宗田理さんのぼくらシリーズや、はやみねかおるさんのミステリーものも多く貸し出しされています。絵本では「ぐりとぐら」や「パーパパ」「11ぴきのねこ」「しろくまちゃん」のほっとけーき」など親世代にもなじみのあるタイトルが並びます。

また本の整理や修理をするなかで、何度も手にとり読まれていると感じるのは乗り物や昆虫、恐竜などの本です。  
Q、職員の方お薦めの、親子で楽しめる本は？  
親も子どもも楽しめるお薦めしたい本はたくさんあります。

かわさき子ども読書100選でもお薦め本を紹介していますが、まずは新しく入った本の中から紹介します。

## 「麒麟のセラフィナ」

ロラン・ド・ブリュノフ／作



石津ちひろ／訳  
セラフィナは大好きなおばあちゃんのお誕生日をお祝いするため仲間たちと準備に向かうのですが…

鮮やかで軽妙なタッチの絵とともに読み進められる一冊です。

## 「スプーン王子のぼうけん」

竹下文子／作



こぼようこ／絵  
妖精にもらったスプーンがお気に入りのスプーン王子はゆうかんで

しりたがり。あることを経験するため冒険に出かけます。

定番の本からは民話にもふれてほしいので、「三びきのやぎのらがらどん」また、丁寧に描かれた絵を見ながら地球の誕生を知る「せいめいのれきし」もお薦めです。

Q、読書が苦手な子どもでも読みやすいお薦め本は？  
科学絵本はいかがでしょうか？

「クラゲすいぞくかん」は綺麗な写真が多く、見ているだけでも楽しめます。珍しい写真や、丁寧な解説のなかには大人でも興味深い内容が詰まっています。

文章量が少ない絵本にも、きめ細かく描かれた絵をじっくり見て楽しめる良さがあります。  
子どもに本を選んであげる時は、親が子どもの頃に親しんだ本を薦めてみるのも一つです。  
絵と文の量を子どもの様子を見ながら、ひとりひとりの好みに合わせて調整していくと良いでしょう。



図書館には毎週、新しい本が入ってきます。親子で一緒に本を探したり、読み進めたりしながら知識の枝葉を広げていけると良いですね。

市立図書館の一角にある子どもコーナー

## ◆図書館イベントのお知らせ◆

- 11月3日 読書の日 会場 中原図書館
- 11月8日 おはなしキャラバン 会場 アトレ川崎1階ツバキひろば

◎川崎図書館では毎週水曜日の15時からおはなしかいをしています。おはなしは12月になるとクリスマス仕様になります。

※詳細は、館内のポスターやチラシ、ホームページをご確認いただくか、川崎市立図書館へ直接お問い合わせ下さい。  
(<http://www.library.city.kawasaki.jp/>)

※本の写真及び表紙画像は、各出版社に許諾を得た上で掲載しています。